

特集

# 予算から見る 津山のまちづくり

平成16年度当初予算が、3月定例議会で決まりました。  
4月からは、この予算に基づいていろいろな施策を行います。  
今年度はどれだけの収入があり、  
どれだけのお金を使ってどのような事業を行うのでしょうか。

今月は予算から  
津山のまちづくりを見てみましょう。

## 予算の特徴

平成16年度の津山市の当初予算額は右表のとおりです。国の三位一体改革（補助金削減、税源移譲、地方交付税制度の見直し）の影響を受け、とても厳しい財政事情での予算編成となりました。

この改革により地方交付税、臨時財政対策債合わせて10億9,000万円の減収となり大幅な財源不足が生まれました。財源が不足すると必要な施策や事業を行うことができません。そこで、市役所全体で徹底的に経費の削減を行うとともに、不足分は基金の取り崩しによる予算を編成しました。

一般会計は昨年度に比べて7.8パーセントの伸び率になっていますが、昨年度は政策的な予算編成を6月に行っており、6月補正予算後との比較では0.8パーセントの減です。また、食肉処理センター特別会計は、肉の追跡調査ができる安心な食のシステムづくりのために増加したものです。

平成16年度 会計別予算額

会 計	平成16年度	伸び率(%)	
一 般 会 計	307億4,200万円	7.8	
特 別 会 計	磯野計記念奨学金	385万円	12.1
	食肉処理センター	2億1,150万円	10.8
	国民健康保険	68億5,861万円	3.1
	公共用地取得事業	1億5,429万円	20.8
	下水道事業	46億9,065万円	7.7
	老人保健	87億7,580万円	0.4
	全本明正奨学金	1,346万円	0.2
	介護保険	48億1,158万円	2.0
特別会計小計	255億1,974万円	0.3	
財産区会計	1,213万円	4.3	
水道事業会計	46億2,151万円	2.4	
合 計	608億9,538万円	3.8	

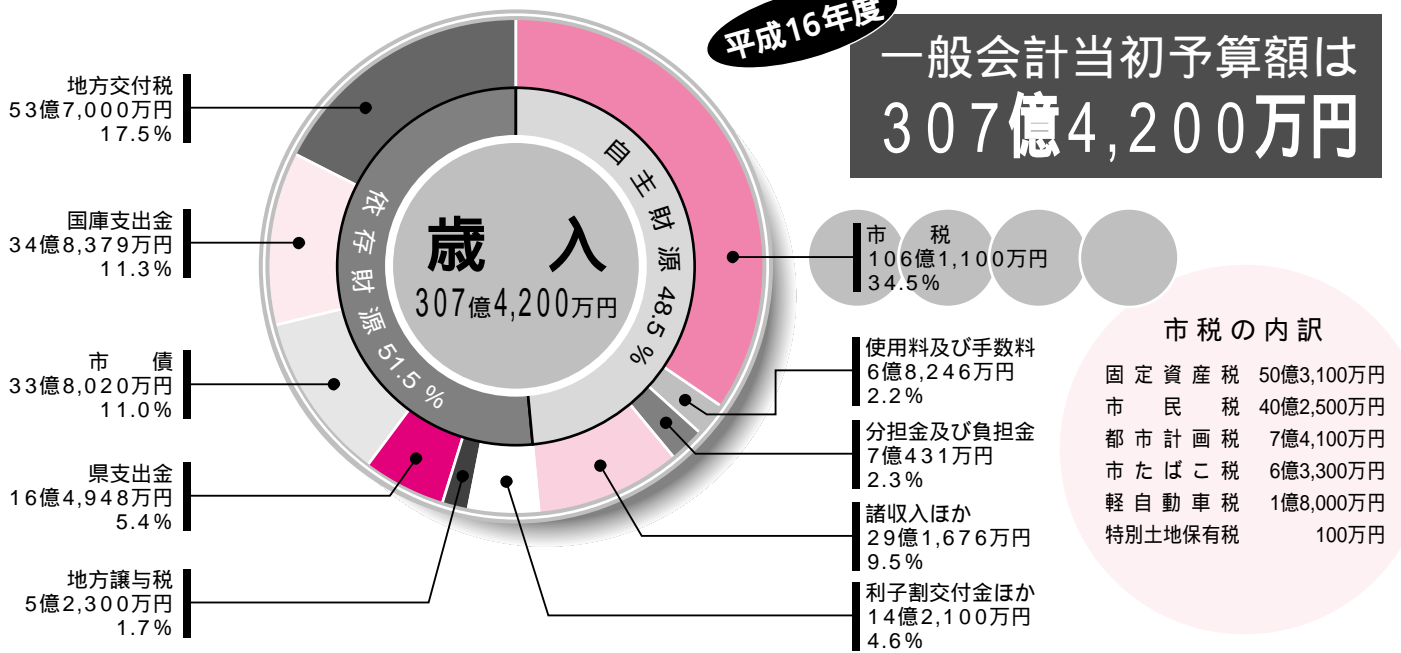
はマイナスをあらわします

### 用語の解説

- 一般会計：福祉や教育、道路整備やごみ処理など基本的な市の事業を行うための会計
- 特別会計：特定の事業を行うために特定の収入をその支出にあて一般会計と分けているもので、上記の8会計
- 財産区会計：山林などを所有し、その管理や処分を目的とした特別な地方公共団体の会計
- 水道事業会計：水道事業から得られる収入で浄水や給水などの費用を賄う独立採算制の企業会計

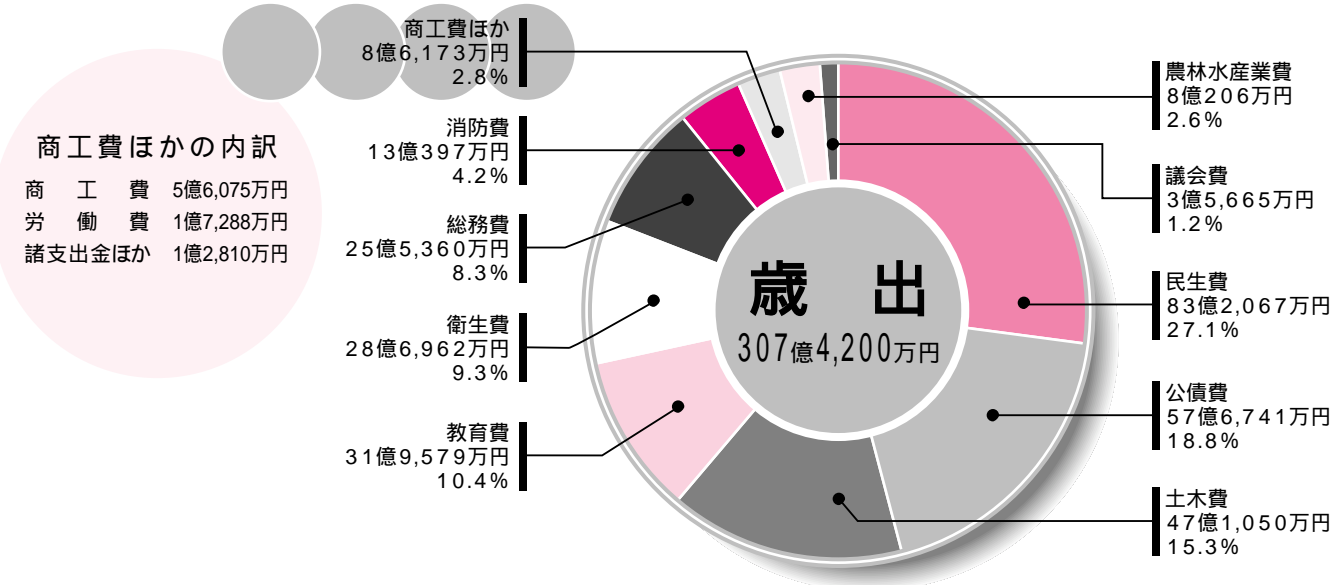
平成16年度

一般会計当初予算額は  
307億4,200万円



市税の内訳

固定資産税	50億3,100万円
市民税	40億2,500万円
都市計画税	7億4,100万円
市たばこ税	6億3,300万円
軽自動車税	1億8,000万円
特別土地保有税	100万円



商工費ほかの内訳

商工費	5億6,075万円
労働費	1億7,288万円
諸支出金ほか	1億2,810万円

用語の解説

歳出

- 民生費**  
お年寄りや乳幼児、障害者などの福祉、地域のコミュニティのために使われるお金
- 公債費**  
市の借入金の返済に使われるお金
- 教育費**  
幼稚園、小・中学校などの学校関係、社会教育、芸術文化、スポーツの振興などに使われるお金
- 土木費**  
道路や橋、下水道、都市整備などに使われるお金
- 総務費**  
税務、戸籍、選挙などの事務や市役所の管理などに使われるお金
- 衛生費**  
各種健康診断や救急医療対策、ごみ処理などに使われるお金
- 消防費**  
津山圏域消防組合の負担金や消防団の機庫、車両、防災対策などに使われるお金
- 農林水産業費**  
農林水産業の振興、農道や林道、ため池の整備などに使われるお金
- 議会費**  
市議会の運営のために使われるお金
- 商工費**  
商工業や交通、観光の振興などに使われるお金

歳入

- 地方交付税**  
自治体の収入だけで施策を行うと自治体間に格差が生まれるため、全国の市町村が同じ水準のサービスを提供できるように国から交付されるお金
- 国庫支出金・県支出金**  
国や県が市に任せて行う仕事の委託金や特定の補助金で使いみちが限定されている
- 地方譲与税**  
地方道路譲与税、自動車重量譲与税、所得譲与税など国が代行して集めた税金が市に分配されるもの
- 利子割交付金**  
預貯金の利子に課せられる県税が、市に分配されるもの
- 市債**  
市の借金のこと。臨時的に多額の出費が生じたり、将来の市民にも負担してもらうことが公平と考えられたりする場合に用いることができる
- 分担金・負担金**  
市が行う事業で特定の利益を受ける人などから負担してもらうお金
- 使用料・手数料**  
市の施設使用料や住民票・各種証明書などの交付手数料
- 諸収入**  
どの費目にも含まれない、その他の収入

# 新しく始める事業・おもな事業

今年度、新しく始める事業やおもな事業で、私たちの生活にかかわりの深いものを紹介します。

新  
NEW

世界地方都市十字路会議  
開催事業

1,588万円

世界の地方都市が事例発表や意見交換を通じてまちづくりを学び合う「世界地方都市十字路会議」。9月29日(水)に開催します。

企画室 32 2027



新  
NEW

DV被害者緊急一時保護事業

20万円

DV(ドメスティック・バイオレンス)恋人や配偶者による暴力被害者のための相談体制をさらに充実し、必要に応じて緊急一時保護ができる体制を作ります。

人権啓発課 31 2533

新  
NEW

科学技術イベント  
事業委託料

1,000万円

3年に1度開催している津山の製造業を中心とした「産業展」。津山の産・学・官・民での取り組みや産業を地域に向けて紹介します。

商工観光課 32 2081



津山城築城400年  
記念事業

5,249万円

4月1日から来年の5月5日までの400日間を記念事業期間とし、各種行事や講演会など多彩な記念事業を開催します。6月には津山城特集グラフィックを発行し、各家庭に配布します。この事業を通して、歴史に学びながら津山のまちづくりを考え

新  
NEW

美作国分寺跡  
整備基本構想策定事業

149万円

国の史跡に指定された「美作国分寺跡」とその周辺の史跡整備を含めた将来的な活用を、学識者の意見を聞きながら研究します。

文化課 24 8413

新  
NEW

マンモグラフィ  
乳がん検診委託事業

87万円

今までの視診・触診による検診方法に加えて、50歳から64歳までの偶数年齢の女性を対象にレントゲン法による検査(マンモグラフィ)方法を追加します。この方法を取り入れることで、がん発見率は今までの3倍に上がるといわれています。

健康増進課 32 2069

乳幼児医療費

1億6,625万円

昨年度、3歳未満から4歳未満に引き上げた乳幼児医療費給付制度。子育てを応援するため4月から対象年齢をさらに5歳未満まで引き上げます。

社会福祉事務所 32 2065

史跡津山城跡保存整備事業

2億4,193万円

平成13年度に着工した備中櫓復元整備工事は来年3月の完成に向けて着々と進んでいます。今年度はおもに壁のしつこい塗りや内装工事を行い、9月ごろには一般見学会を開催する予定です。

このほかに、津山城全体の整備のための発掘調査や備中櫓の復元整備も含めた整備方針も検討していきます。

文化課 24 8413

津山観光キャンペーン事業





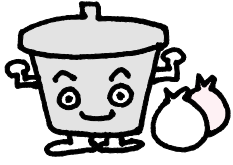



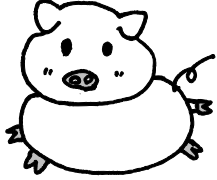


2,235万円

さくらまつり、ごんごまつりなどのイベント開催や押阪忍さん、浮田佳奈さんをお願いしている津山市観光大使を活用して、全国に向けて津山市の情報を発信します。

商工観光課 32 2082



市民1人あたりの予算額は・・・

民生費	公債費	土木費	教育費
 9万2,271円	 6万3,957円	 5万2,237円	 3万5,440円
衛生費	総務費	消防費	商工費ほか
 3万1,822円	 2万8,318円	 1万4,460円	 9,556円
農林水産業費	議会費	全体では	
 8,895円	 3,955円	 34万911円 人口90,176人(平成16年3月1日現在)	

拠点資源回収事業

845万円

リサイクルを進めるため市内のスーパーマーケットなどの協力を得て、拠点



資源回収や青空リサイクルプラザを開設し、新聞紙、缶・びんなどの資源回収を行います。

環境事業課  
回22 8255

新  
NEW

津山駅周辺整備基本計画  
策定事業

450万円

津山駅周辺が、県北の拠点都市津山の玄関口にふさわしい「交通拠点地区としてのにぎわいの場、交流の場」となるように、津山駅を中心とした基本計画を策定します。

都市計画課回32 2096

街づくり株式会社  
支援事業

2億円

津山街づくり会社を支援するため、総額5億5,000万円を3年間で貸し付けることが、平成15年1月に議決されました。それに基づいて、今年度分の2

億円を予算化しましたが、先の3月議会では、これを削除する修正案が可決されました。しかし、この貸付金は、すでに議決された義務費であるため、地方自治法の規定により執行予定です。

商工観光課回32 2080

その他のおもな事業

合併処理浄化槽設置整備事業に

1億5,393万円

新 鶴山塾開塾20周年記念事業に

97万円

選挙執行費(参議院議員、知事)に

6,428万円

焼却灰搬出処理委託事業に

1億3,348万円

児童手当費(対象年齢拡大を含む)に

5億994万円

新 標準地鑑定委託料に

3,206万円

林田小学校グラウンド等整備事業に

1億円

第60回国体準備事業に

4,440万円

総社川崎線整備事業に

5億円

新 は新規事業をあらわします

予算についてのお問い合わせは、市財政課回32 2020へ、事業についてのお問い合わせは、それぞれの担当課へください。